



令和元年度
こうちこどもファンド
事業報告書

【目次】

1	令和元年度事業スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	助成を決定する審査員等・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3	公開審査会・・・・・・・・・・・・・・・・	3
4	助成団体の活動・・・・・・・・・・・・・・・・	5
5	助成団体活動発表会の中止について・・・・・・・・	5
6	事業成果報告・・・・・・・・・・・・・・・・	6
7	令和元年度高知市子どもまちづくり基金実績・・・・・・・・	146
8	今後に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・	147

【資料編】

- ・高知市子どもまちづくり基金条例
- ・高知市子どもまちづくり基金助成金交付要綱
- ・「こどもファンド通信」第28号（令和元年5月発行）
- ・「こどもファンド通信」第29号（令和元年8月発行）
- ・「こどもファンド通信」第30号（令和2年2月発行）

ごあいさつ

子どもたちが自ら高知のまちについて関心を持つきっかけとなり、「高知をもっと好きになってもらいたい」「高知で生まれ育ったことを誇りに思うように育ってもらいたい」という思いで始めた「こうちこどもファンド」は、市民の皆様のご協力や、企業・団体・個人の皆様のご寄附などにより、制度開始から8年目を迎えることができました。

令和元年度は応募いただきました全12グループに助成を行い、子どもたちは防災・清掃・食など自由な発想で活動に取り組みました。また、今年度は初めて、子どもたちの活動取材し、その取り組みをインターネットを通じて発信する活動を行うグループも現れるなど、こどもファンドの活動はさらなる広がりを見せています。

公開審査会で助成が決定してから約8か月間の活動の中で、子どもたちは仲間と悩み、議論を重ね、地域内外の方たちとの連携や交流を行うなど、普段の生活では味わえない様々な経験を積んできたと思います。3月の活動発表会では、活動を通して成長した子どもたちの姿が見られることを楽しみにしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、誠に残念でありましたが、中止の判断をさせていただきました。

それでも、いただいた報告書には、活動の中で感じたこと、得られたことを通じて、まちづくりに対する子どもたちの思いが溢れており、高知市の将来のまちづくりに向けて大変頼もしい思いがいたしました。子どもたちには、この経験をもとに、これからもまちづくりに関心を持ち続けていただければと思います。

結びにあたり、まちづくり活動に取り組んだ子どもたちの今後の活躍に期待するとともに、制度創設から携わっていただいております卯月先生、また制度の運営に関しまして重要な役割を担っていただいておりますこども審査員及び大人審査員の皆様、こどもファンドアドバイザー、こども審査員サポーター、そして活動を応援していただいた皆様に感謝を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



高知市長 岡崎 誠也

1 令和元年度事業スケジュール

	運営等	広報等
4月	14日 事前説明会 (会場：市民活動サポートセンター)	
5月	10日 助成事業応募締め切り	こどもファンド通信(第28号)発行
6月	9日 事前研修会(こども審査員) 16日 公開審査会 (会場：市保健福祉センター)	
7月		
8月	助成団体の活動期間	平成30年度事業報告書発行 こどもファンド通信(第29号)発行 令和元年度公開審査会報告書発行
9月		
10月		
11月		制度紹介チラシ発行
12月		コミュニティ計画推進市民会議定例会、地域内連携協議会で事業募集、第9期こども審査員チラシ配布(随時)
2年1月		・民生委員児童委員協議会会長会で事業募集、第9期こども審査員募集の周知 ・市内近隣小中高校等へ、事業募集及び第9期こども審査員募集チラシ配布開始
2月		・コミュニティ計画推進市民会議定例会でチラシ配布(随時) ・こどもファンド通信(第30号)発行
3月	活動発表会 第9期こども審査員応募者面接 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止	

2 助成を決定する審査員等

(1) 審査員について

こうちこどもファンドの審査は、「大人審査員」と「こども審査員」が一緒に行います。大人審査員は、学識経験者・民間企業関係者・まちづくり活動関係者・行政などの分野からなる7名で構成されています。令和元年度の第8期こども審査員は、小学校5年生から高校3年生までの10名で構成されました。こども審査員は、審査会の1週間前に「事前研修会・模擬審査会・事前審査会」を行い、公開審査会に向けて準備を行いました。

○事前研修会

こどもファンドの事業趣旨を学ぶとともに、自分たちが審査する時のポイント（審査項目）を話し合い、決定しました。その際、こども審査員のサポート役として「こども審査員サポーター」を配置し、子どもたちが活発な議論ができるようにサポートしていただきました。また、公開審査会当日にも、こども審査員を支援する役割を担っていただきました。

○模擬審査会

模擬プレゼンテーションを行い、決定したばかりの審査項目に添ってこども審査員が実際に審査を体験しました。

○事前審査会

応募グループから出された申請書の内容について、大人・こども審査員が情報を共有しました。

(2) 申請団体側のサポートについて

「こどもファンドアドバイザー」を配置し、①こどもファンドへ応募するまでの企画を検討するとき②応募後、公開審査会での発表方法を考えるとき③助成決定後の活動時の3段階におけるアドバイスを行っていただきました。

こども審査員（10名）

古谷 愛夏（旭小学校5年）、前田 桔平（秦小学校6年）、増田 光祥（高知中学校1年）、水沼 阿望（城北中学校3年）、西森 菜央（城北中学校3年）、戸田 凜（城北中学校3年）、宇賀 みくも（北高校1年）、森本 向日葵（丸の内高校1年）、田部 祥一朗（嶺北高校1年）、吉本 怜（北高校3年）

大人審査委員（7名）

審査委員長・卯月 盛夫（早稲田大学社会科学部・社会科学総合学術院教授）、審査副委員長・吉門 文恵（株式会社ケンジン代表取締役社長）、梶 英樹（高知大学地域連携推進センター地域コーディネーター講師）、尾崎 昭仁（特定非営利活動法人 NPO 高知市民会議プロジェクトマネージャー）、山本 正篤（市教育長）、谷脇 禎哉（市市民協働部長）、山川 瑞代（市こども未来部長）

サポート役（2名）

こども審査員サポーター 宮田 純子（市教育委員会学校教育課 指導主事）、
こどもファンドアドバイザー 畠中 洋行

※役職・学年等は、令和元年10月1日時点のものです。

3 公開審査会

○日時：令和元年6月16日（日） 13時30分～17時

○場所：高知市南部健康福祉センター 2階大ホール

13:30

こどもファンド公開審査会 開会

13:40～

応募団体による公開プレゼンテーション 開始

応募団体が3分以内で発表し、それに対して審査員が5分以内で質問をします。6団体発表後、5分間の休憩を挟み、残りの6団体の発表が行われます。

15:20～

休憩

休憩時間の間に、こども審査員が一次判断を行います。

15:30～

審査員による公開協議

一次判断の結果について、審査員が公開で話し合いを行います。そのなかで、審査員から、もう少し聞きたいことがあるというグループについては、再度、審査員から質問させていただきます。

16:10～

休憩

休憩時間の間に、こども審査員が最終判断を行います。

16:25～

審査結果発表

16:30～

こども審査員からの感想発表

16:40～

審査委員長からの講評

16:50

閉会



(1) 審査の流れ

- ①助成申請した活動内容について、応募団体がプレゼンテーションを行います。(持ち時間3分間)
- ②各応募団体のプレゼンテーションが終了するごとに、審査員との質疑応答の時間を設けます。(5分間)
- ③公開プレゼンテーションと質疑応答の結果をふまえ、こども審査員10名が、各応募事業について「いいね!」「もう少し質問がある」「もうちょっと!」のいずれの項目に該当するか、一次判断を行います。
- ④一次判断の結果をもとに、助成をするかしないか、こども審査員と大人審査員が、公開で審議を行います。「もう少し質問がある」「もうちょっと!」にシールが貼られている団体に対して、審査員から再度、質疑応答の時間を設けます。
- ⑤公開での審議後、こども審査員10名が、助成するかしないかについての最終判断を行い、こども審査員の過半数、6名以上が助成すると判断した場合に助成が決定します。
- ⑥審議結果については、公開の場で発表します。



(2) 審査結果

応募された12団体すべてが助成決定されました。

助成団体	助成金額	得票数	助成合否
旭地区防災食プロジェクト	200,000	10	合格
土佐山宣隊 6ネンジャー	200,000	10	合格
ふんわりシスターズ	165,000	9	合格
高知とさじゅく広報部	200,000	10	合格
太平洋学園コミュニティー協力隊	200,000	10	合格
Juvenile	200,000	10	合格
朝倉中学校生徒会	198,220	10	合格
おおつつ子	200,000	10	合格
Co-CREATOR	80,000	7	合格
久重 natural チーム	200,000	10	合格
AOYAGI 地域盛り上げ隊	200,000	10	合格
Village Jamboree	200,000	10	合格

※なお、公開審査会の内容の詳細は、令和元年8月発行の「こうちこどもファンド令和元年度審査会報告書」に掲載しております。

4 助成団体の活動

○助成活動期間：令和元年7月1日 ～ 令和2年2月29日

審査会において助成決定された12団体は、それぞれ次のような活動を行いました。

令和元年度こどもファンド助成団体一覧

団体名	活動内容	こども代表者 及びメンバー	大人サポーター責任者	支援団体等（予定含む）
旭地区防災食プロジェクト	○防災食となる食物の栽培・収穫・調理 ○オリジナル防災活動グッズ作成 ○高知大学防災サークルとともに防災キャンプ実施	小松 隼汰 旭中学校・旭小学校生徒、 保育園児等合計17名	秋山 和久 （保護者）	・旭小学校 ・旭小学校区青少協 ・高知大学防災すけっと隊 ・旭地区のみなさん
土佐山童隊 6ネンジャー	○土佐山地域のおすすめスポットを紹介する看板作成 ○看板掲載事項等について、地域住民とのミーティングや、夏祭りではアンケート実施	菅光 隼世 土佐山学舎生徒合計14名	竹崎 優子 （土佐山学舎校長）	・土佐山まつりの会 ・土佐山アカデミー ・土佐山地域振興課 ・土佐山学舎
ふんわりシスターズ	○はりまやばし商店街をPRするためのワチワ風パンフレット作製と、よさこい祭りの時期に合わせて高知城等で配布 ○パンフレットのPR効果について、はりまやばし商店街で聞き取り調査実施	山本 愛結 国際中学校生徒合計3名	片岡 真希 （国際中学校教諭）	
高知とさじゅく広報部	○こどもファンドで活動中の6団体の活動内容取材・動画撮影 ○動画の編集とyou tubeでのアップ	迫屋 景亮 土佐塾高校生合計6名	濱口 静代 （土佐塾高校教諭）	
太平洋学園コミュニティ協力隊	○地域での防災祭りに参加し、防災学習とともに地域との交流実施 ○避難所運営疑似体験学習の実施 ○学校・地域に対する学習成果の発表	竹澤 葉菜 太平洋学園高校生合計17名	光雷 祥 （太平洋学園高校校長）	・太平洋学園高等学校生徒会 ・太平洋学園高等学校PTA ・宋田西公園愛護会
Juvenile	○地域の民生委員の協力のもと、普遊び交流会実施 ○高知大学防災サークルの協力のもと、防災交流会実施	神原 智美 国際中学校生徒合計4名	二宮 脩 （国際中学校教諭）	
朝倉中学校生徒会	○地域住民と、コミュニケーションツールを活用した交流実施 ○介護老人施設への花の缶と紙の門松の配布 ○小学校でゲームを介した交流実施 ○LEDイルミネーション設置	池 隼向 朝倉中学校生徒合計9名	山田 洋士 （朝倉中学校校長）	・朝倉小学校区地域内連携協議会 ・朝倉第二小学校区地域内連携協議会 ・地域学校協働本部
おおつっ子	○中学校文化祭や、ふれあいセンターで地域住民への防災劇披露 ○中学校や地域へのポスター配布	中野 佳奈 大津中学校生徒合計10名	飯田 泰明 （大津中学校校長）	・地区補導員 ・町内会の方々
Co-CREATOR	○毎月第2日曜日に団地内の清掃 ○交通安全ポスター、火の用心ポスターの貼り出し ○活動報告を助内会回覧板で回収(3回)	眞鍋 柑太 国際中学校生徒等合計3名	井上 祐子 （国際中学校主幹教諭）	
久重naturalチーム	○星空観測会(3回) ○地域で茶葉採取とオリジナルブレンド茶作成、有用植物採取と保存食作成 ○地域の祭りでオリジナルブレンド茶と保存食提供	武林 青海・竹崎 万紗 久重小学校・愛宕中学校・ 土佐中学校生徒合計25名	武林 由希子 （保護者）	・久重地域連携協議会 ・高知みらい科学館 ・天文サークルの大学生のみなさん ・久重地域のみなさん
AOYAGI 地域盛り上げ隊	○ゲーム形式による絶海池の一斉清掃(2回) ○兵口雄幸の生家記念館の清掃と業績の学習	近森 晴南 青柳中学校生徒合計10名	植田 愛依 （青柳中学校生徒会担当教員）	・高須ふれあいセンター ・五台山ふれあいセンター ・五台山まちづくりの会
Village Jamboree	○月1回、地元商店街の店や人を紹介するフリーペーパーを発行(6回)	若井 望奈 国際中学校生徒合計3名	堀見 絵里沙 （国際中学校生徒指導部長）	

5 助成団体活動発表会の中止について

例年3月に助成団体活動発表会を開催し、各団体の子どもたちによる活動の成果発表や、他団体の活動のアイデアで自分たちに活かせることを話し合うグループワーク、会場や審査員の投票による団体表彰などを行ってありますが、令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から活動発表会は中止とさせていただきます。

しかしながら、子どもたちが活動発表会で発表することになっていたパワーポイントや動画、また、活動の中で作成したパンフレットや冊子、上演した劇の様子などたくさんの成果報告をいただいております。

それらの成果報告についても、掲載させていただいておりますので、ぜひご覧ください。

6 事業成果報告

NO	グループ名	活動テーマ	助成金額	ページ
1	旭地区防災食プロジェクト あさひちくぼうさいしょく	地域 <small>ちいき</small> のみんなの命 <small>いのち</small> と食 <small>しょく</small> を守るんジャー	200,000 円	7 P
2	土佐山宣隊 6 ネンジャー とさやませんたい	Welcome to Tosayama～おすすめスポット大作戦～ うえるかむ とー と さ や ま だいさくせん	200,000 円	24P
3	ふんわりシスターズ	商店街をパンフレットで活性化！ しょうてんがい かっせい	80,252 円	35P
4	高知とさじゆく広報部 こうち	高知のこと知っちゃう？～高知を世界に発信～ こうち し こうち せかい はっしん	60,386 円	40P
5	太平洋学園コミュニティ協力隊 たいへいようがくえん きょうりょくたい	学内・地域の皆さんとより安心して暮らせるまちへ ～自分たちで行う防災～ がくない ちいき みな あんしん く じぶん おこな ぼうさい	163,284 円	47P
6	Juvenile じゅぶない	Let's ほこほこ交流会～地域のつながりに関心を持とう～ れっつ こうりゅうかい ちいき かんしん も	41,351 円	59P
7	朝倉中学校生徒会 あさくらちゅうがっこうせいとかい	人に優しい笑顔あふれるまちづくり～ASAKURA～ ひと やさ えがお あさくら	58,637 円	81P
8	おおつっ子 お	防犯への意識が高い大津地区！ ぼうはん いしき たか おおつ ちく	50,600 円	87P
9	Co-CREATOR こーくりえーたー	望みの望海づくり～より住みよい団地に～ のぞ のぞみ す だんち	18,720 円	99P
10	久重 natural チーム きゅうじゅうなちゅうら	空と大地の恵み豊かな久重の魅力を多くの人に伝えよう ～星空観測と保存食でまちを元気に！～ そら だいち めぐ ゆた きゅうじゅう みりよく おお ひと つた ぼしぞらんそく ぼぞんしょく げんき	187,585 円	108P
11	AOYAGI 地域盛り上げ隊 あおやぎ ちいきもりあげたい	高須・五台山地区の魅力を発信し、地域を盛り上げよう！ たかす ごだいさんちく みりよく ぼっしん ちいき も あ	194,483 円	117P
12	Village Jamboree ヴイレっじ じゃんぼりー	ぶちまけ！発信！愛宕カラー！～フリーペーパー『ATAGOBITO』～ ぶっしん あたご	180,206 円	132P

No.1

旭地区防災食プロジェクト

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 2 年 2 月 29 日

1 団体の名前

ふりがな	あさひちく ぼうさいしゅくぶ3じゅくと
団体の名前	旭地区防災食プロジェクト

2 活動のテーマ

地域のみんなの命と食を守るんジャー

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
4.5月	3月に苗を植えたツツガイモの世話。 サツマイモの苗植え。越知町へ茶摘み交流
6月	火田の世話。 オリジナルブルゴツとナップザックを作成
7月	防災キャソフ。救急救命講習を受講
8.9月	火田の世話。 (水やり、草抜き) 豆ふ作り。
10月	地域の人たちと防災バーベキュー
11月	芋掘り 旭小、学校内祭「キララフェスティバル」に作物を ^{提供}
12月	芋天 せたこ焼きを作、て、茶話会 防災クリスマス会
1月	新しい仲間を迎えて防災新年会
2月	火田の野菜を使、て、おびんを計画。(3月に予定)

4 まちづくりの効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふうになくなったと感うか書いてください。

<感想>

顔見知りが増えた。友だちのお父さんが全力で遊んでくれるのが楽しい。かまどで火の番ができるようになった。くせいは、家のごはんよりおいしかたです。

<まちが良くなったと思うこと>

たくさん話し合い、しょに作業したり遊んだりするの、子どもも大人もすぐに仲良くなりました。

5 今後の展望など

今後自分たちの活動をどのように続けていきたいかなど、自由に書いてください。

学校の友だちや知り合が少しづつ来してくれるようになる。たのび、もっと仲間を増やしたい。今は、大人サポーターが計画してくる部分も子どもが考えてもっと面白したい。(特に防災キャップをもっとサバイバルにしたい)地震は小布いけれど準備できることを知っていると安心できることがたくさんある。

6 活動の様子がわかる絵や写真があれば紹介してください(そういうことをみんなに伝えた)



旭地区防災食プロジェクト

令和元年度決算報告書

収入の内容		予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
収 入	ファンド助成金	200,000 円	200,000 円	
	寄付金	0 円	3,146 円	参加者から寄付として
	合 計	200,000 円	203,146 円	

支出の内訳		予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
支 出	作物栽培費	19,402 円	18,992 円	エンドウネット278円,キュウリネット128円,べたがけ不織布1,996円,ステンレス家庭鎌5,340円,スチール土おこし鎌1,980円,全鋼三本鎌2,994円,アルミ柄刈込鋏980円,角杭846円,マルチ1,280円,軍手396円,子供軍手980円,ステンレス片手鎌1,794円,
	防災学習(キャンプ)	55,909 円	62,934 円	フリーズドライ17,925,養老山麓のおいしい水500ml 840円,乾電池式ランタン5,940円,木炭 9kg2,560円,ノコギリ2丁差し8,250円,サランラップ258円,アルミホイール190円,マレモン 2150ml880円,乾電池式LED投光器6,160円,アルカリ乾電池単3形10本パック804円,アルカリ乾電池 単4形10本パック536円,フィールドカート798円,ロックタイ100本入598円,ウェットティッシュ60枚入 3個パック408円,ウォータータンク 20L2,990円,救急セット3,201円,虫よけスプレー398円,デスクライト3685円,アルミ易寝袋825円,加熱袋933円,熱中症対策キット3,000円,手数料1,755円
	作物費	10,000 円	5,400 円	スイカ苗3,600円,液肥1,800円
	花壇整備費	10,000 円	4,000 円	花苗代4,000円,
	スタッフブルゾン	54,000 円	77,820 円	1,801.4円×40枚×1.08
	防災オリジナルバック	40,689 円	34,000 円	787.025円×40個×1.08
	防災活動広報費	10,000 円	0 円	
	合 計	200,000 円	203,146 円	



3月にキヌサヤを収穫、
ジャガイモの苗を植えました。

3月にキヌサヤを収穫， ジャガイモの苗を植えました。



畑の隅でシイタケも育ちました。

畑の隅でシイタケも育ちました。



4月には、いろいろな苗を植えました。
トマト、ナス、ピーマン、キュウリなど。

4月には、いろいろな苗を植えました。
トマト、ナス、ピーマン、キュウリなど。



5月には大きく育ったタマネギを収穫しました。

5月には大きく育ったタマネギを収穫しました。



ニンニクも収穫しました。
どうやって食べるか、みんなで相談しました。

ニンニクも収穫しました。
どうやって食べるか、みんなで相談しました。



サツマイモの苗植えもしました。

サツマイモの苗植えもしました。



5月には、茶畑に招待してもらって
みんなで茶摘み体験をしました。

5月には、茶畑に招待してもらってみんなで茶摘み体験をしました。



摘んだ茶葉は畑へ持ち帰って
かまどで炒りました。

摘んだ茶葉は畑へ持ち帰ってかまどで炒りました。



自分たちで揉んだお茶は
とてもおいしかったです。

自分たちで揉んだお茶はとてもおいしかったです。



6月には、草引きと
サツマイモの間引きをしました。

6月には、草引きとサツマイモの間引きをしました。



何種類か植えたピーマンが食べごろでした。
甘くておいしかったです。

何種類か植えたピーマンが食べごろでした。
甘くておいしかったです。



7月、夏野菜の収穫をしながら
キャンプの打ち合わせをしました。

7月、夏野菜の収穫をしながらキャンプの打ち合わせをしました。



鴨田小の防災キャンプを見学させていただきました。
参加者が多くて「すごい！」と思いました。

鴨田小の防災キャンプを見学させていただきました。
参加者が多くて「すごい！」と思いました。



防災サバイバルキャンプをしました。
救急救命講習に参加しました。

防災サバイバルキャンプをしました。
救急救命講習に参加しました。



防災すけっと隊に
防災ポーチの作り方を教わりました。

防災すけっと隊に防災ポーチの作り方を教わりました。



夕飯は「畑の野菜カレー」を作りました。
ごはんもじょうずに炊けました。

夕飯は「畑の野菜カレー」を作りました。
ごはんもじょうずに炊けました。



ダンボールハウスを作りました。
せまいけど、快適でした。

ダンボールハウスを作りました。
せまいけど、快適でした。



次の日は、防災マップを作りました。
絵とシールで工夫しました。

次の日は、防災マップを作りました。
絵とシールで工夫しました。



グループごとにマップを発表しました。
旭の危険な場所を確認することができました。

グループごとにマップを発表しました。
旭の危険な場所を確認することができました。



8月は、昨年畑で採れた大豆を使って
豆腐作りをしました。

8月は、昨年畑で採れた大豆を使って豆腐作りをしました。



にがりを入れて混ぜると
豆腐ができました。

にがりを入れて混ぜると豆腐ができました。



理科の実験みたいで楽しかったです。

理科の実験みたいで楽しかったです。



自分たちで作った豆腐は
豆の香りがして、味もおいしかったです。

自分たちで作った豆腐は
豆の香りがして、味もおいしかったです。



11月、芋掘りをしました。

11月、芋掘りをしました。



芋天で茶話会をしました。

干し芋も作りました。

2019/12/01 10:11

芋天で茶話会をしました。

干し芋も作りました。



畑で作業していると

友だちや近所の人ともっと仲良くなれます。

畑で作業していると友達や近所の人ともっと仲良くなれます。



プロジェクトの畑にはおいしい野菜と仲間がそろっています。



広がる輪、防災の輪



旭地区防災食プロジェクト「防災新聞」

畑でつながる人と人

旭地区防災食プロジェクト&旭小児童クラブコラボ企画
 10月22日、台風「ハビ」の被害を受けた旭地区の子どもたちへ、防災食プロジェクトと旭地区防災食プロジェクトが協力して、防災食プロジェクトの活動が紹介されました。児童クラブの保護者さんは、台風の雨で畑が冠水した話を熱心に聞いてくださいました。冠水しても尚すくすく育つ強い畑は、メンバーの絆そのものです。

10月22日、重層の台風「ハビ」の被害を受けた旭地区の子どもたちへ、防災食プロジェクトと旭地区防災食プロジェクトが協力して、防災食プロジェクトの活動が紹介されました。児童クラブの保護者さんは、台風の雨で畑が冠水した話を熱心に聞いてくださいました。冠水しても尚すくすく育つ強い畑は、メンバーの絆そのものです。

ウを収穫してコノ酢和えにしたり、トリやサバの燻製、焼肉、味噌鍋を楽しまました。おいしいBBOと温かい鍋を囲み、交流の輪が広がった一日でした。



2019年
11月5日発行
7号掲載

芋掘りからの忘年会



11月10日、芋掘りから忘年会。芋掘りをして、鍋を囲み、みんなでワイワイと楽しむ姿が、とても印象的でした。

11月10日、芋掘りから忘年会。芋掘りをして、鍋を囲み、みんなでワイワイと楽しむ姿が、とても印象的でした。

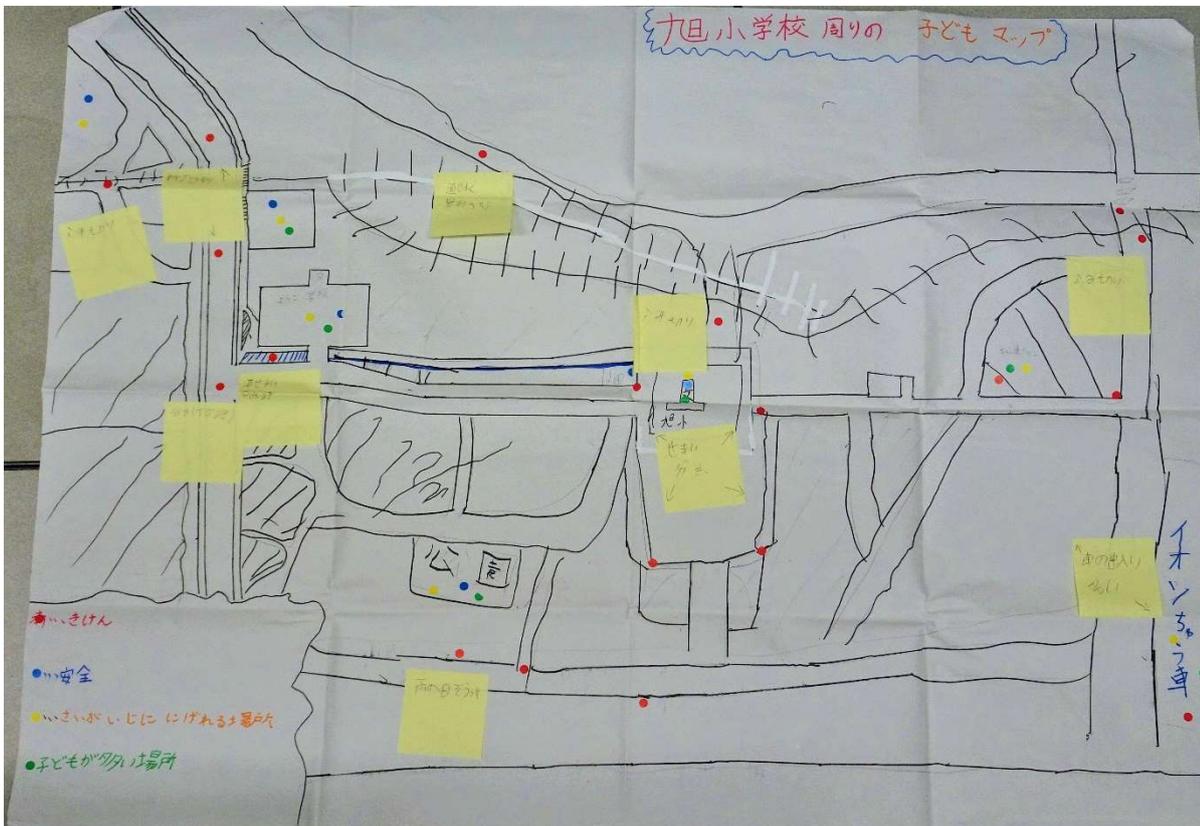


芋天とたこ焼きパーティー。芋天やたこ焼きは、子どもも大好きなメニューです。みんなでワイワイと楽しむ姿が、とても印象的でした。



2019年
12月25日発行
8号掲載

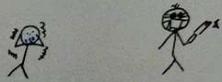
旭安全マップ



探そう危険な場所マップ

理由

- ・暗い
- ・人通りが少ない
- ・道が細くて
逃げられない
- ・見えない
- ・不審者がたまる



4班

- 班長 秋山 凌音
 班員・小松 暖理
 ・神保りな
 ・山本れお
 ・松田 明莉
 ・松田 響音
 ・小松 響ゆい



——道
 ———細道



No.2

土佐山宣隊 6ネンジャー

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和2年 2月 27日

1 団体の名前

ふりがな	とさやませんたい	3ネンジャー
団体の名前	土佐山宣隊	6ネンジャー

2 活動のテーマ

welcome to Tosayama ~ おすまじ 球のつた大作戦

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
令和元年5月	1学期旅行に行ったときに、看板規たり写真を撮ったりする。
6月	こうちこどもファンドで6ネンジャーの思いをプレゼンし、看板の資金を助成してもらう。
7月	看板にのせる内容を考える。 土佐山夏祭りで地域の方にアンケートをとる。
10月	看板のキャッチフレーズを考える。
11月	土佐山を表したキャラクターを作る。
12月	看板にのせたい情報を整理し、地域の方に意見を聞く。
令和2年1月	看板の原案を作り、看板屋さんに6ネンジャーの思いをプレゼンし、アドバイスをもらう。 土佐山めぐりをして写真を撮る。
2月	土佐山学芸会で、保護者の方や地域の方に報告する。 アプリを利用してスマートフォンで聞ける説明を考え、作る。 看板を設置し、地域の方におひらめ会をする。

4 まちづくりの^{こうか}効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふう^よに良くなった^{おも}と思うか書いてください。

<感想>
 本当にいろいろな人に協力してもらって実現したことなので、協力してくれた大人の方に感謝しています。実際に目の前にできて、これを自分たちで作ったんだと思うと感動しました。自分たちの思いを何度もプレゼンしてとても大変だったけど、いい看板ができて良かったです。結構大きなことをやったなと思いました。また来たいと思える土佐山になってほしいです。おひろめ会にたくさんの方が来てくれてうれしかったです。工夫を今までできてよかったなと思いました。知り合いが「ニュース見たで」と言ってくれたので、土佐山に来てくれるかなと思いました。頑張^りて作った看板をおひろめできたし、土佐山をより知^らせてもらえて良かったです。これからも私たちが作った看板を使^っても、と土佐山を広^げていきたいなと思いました。そして、これから土佐山のよいところをもっと知^らてほしいという気持ち^かが大きくなりました。みんなで一致団結して、絆も深^まって良かったです。

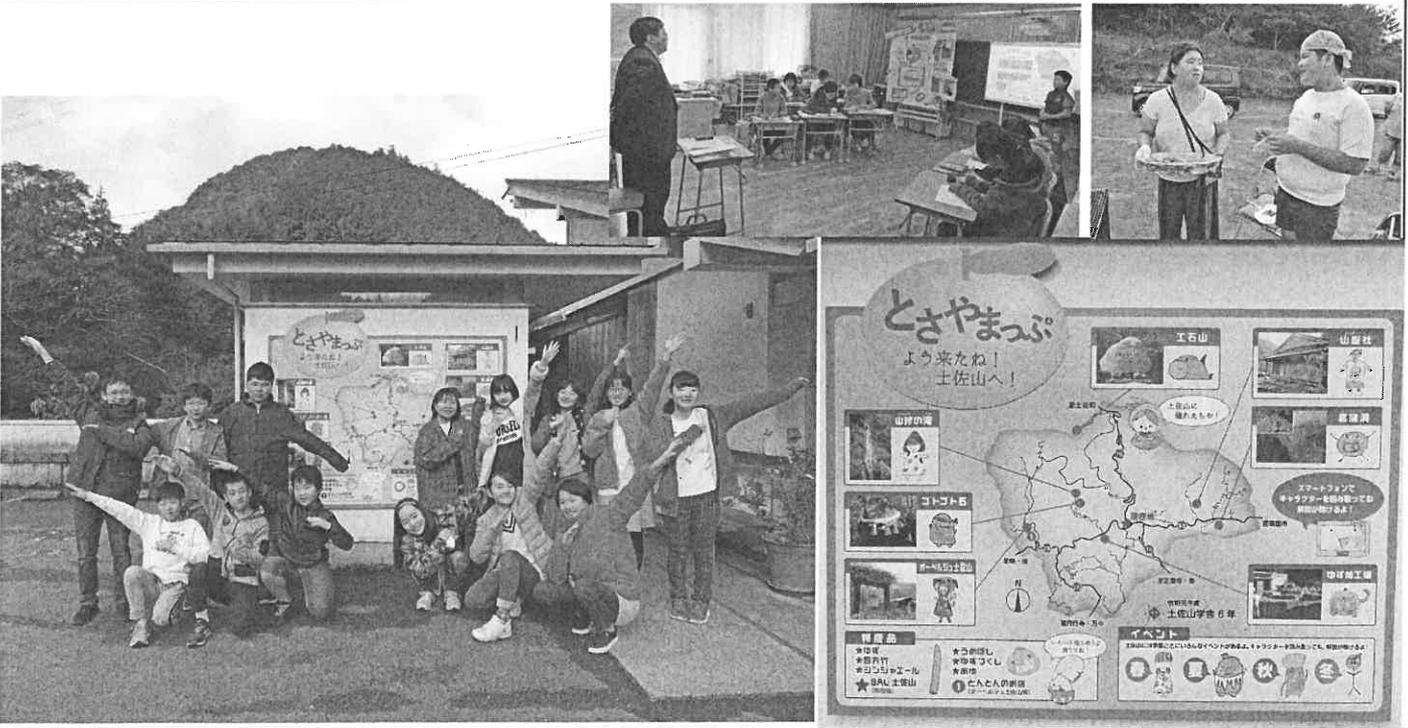
<まちが良くなったと思うこと>
 設置したばかりなので大きな効果は見られないけど、たくさんのメディア(テレビ、新聞)に取り上げ^てもらったので土佐山の知名度は少し上がったかなと思います。地域の方がすごく喜んでくれました。土佐山は特にお年寄りが多いですが、そんなみなさんにも「テレビ出^なったねえ」などと声をかけていたとき、お年寄りの方の笑顔が増^えったと思いました。道から見た時にBALのトイレ前^かが明るくなりました。BALに買^っ物へ来る人がちらと見てくれていました。まずは、家族、友人が来てくれているので、そこから土佐山が広^がっていくと思います。

5 今後の^{こんご}展望^{てんぼう}など

今後自分たちの活動^{かつどう}をどのように^か続けていきたいかなど、自由^{じゆう}に書いてください。

- 案内板の説明を増やす
- イベント(祭り)で人を土佐山に呼ぶ
- 土佐山めぐり(私たちが土佐山の名所を案内する)
- チラシ配り
- スタンプラリー(スマートフォンを利用して、スタンプを集める)

6 活動の様子^{ようす}がわかる絵や写真^えがあれば紹介^{しょうかい}してください♪



土佐山宣隊 6ネンジャー

令和元年度決算報告書

収 入	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
	ファンド助成金	200,000 円	200,000 円	
				円
				円
	合 計	200,000 円	200,000 円	

支 出	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
	看板制作費	200,000 円	200,000 円	とさやまっぷ製作設置費(デザイン調整費含む)
				円
				円
	合 計	200,000 円	200,000 円	

成果物「とさやまっぷ」

土佐山地区の名所や特産品を紹介する看板です。
設置場所は『BAL 土佐山』（高知市土佐山 139-3）です。



次ページから、平成 31 年 2 月 16 日に開催された『看板お披露目会』での、プレゼンの様子を掲載しています。

平成 31 年 2 月 16 日 「看板お披露目会」



土佐山宣隊 6ネンジャー！



私たち6ネンジャーとは、6年生が土佐山のために活動しているグループ名です。
まず、土佐山の課題について説明します。



このグラフを見てください。土佐山は大人が50%、65歳以上のお年寄りが40%、
子どもが10%しかいません。土佐山は少子高齢化が進んでいるんです。



次に、このグラフを見てください。土佐山の人口は年々減っていることがわかります。
平成 30 年から 31 年の一年間で 24 人も減っています。



このままでは、土佐山が消滅してしまうかもしれません。



えー！



土佐山を元気にする力が必要なんです。
 そんなわたしたちの目標は「人が増えてにぎやかな土佐山」



ですが、私たちだけでは人口を増やすことができません。それで6ネンジャーのみんなでお話ししました。話し合った中で、「来た人がもう一度来たいと思える土佐山」「みんなに広めたいと思える土佐山」そんな土佐山にしたい、私たちの想いをぎゅっと詰め込んだ看板を作りたいと思いました。



みなさんは土佐山に看板があることを知っていましたか。



この看板を見てください。この看板は、土佐山へ来る道のトンネルを抜けたカーブに設置されています。この道は時速 50km で通り過ぎる道で、しかもこの看板は古くなっています。まだこんな看板があるんです。だから、新しくリニューアルしたいなと思いました。そのリニューアルした看板を見て、山んばの滝やゴトゴト石などに行ってもらいたいです。また来たいと思えるような土佐山をめざしています。



看板を作るにはお金が必要だと考えた私たちは、こうちこどもファンドに参加することにしました。助成金を看板づくりの資金にしたいと考え練習を始めました。どうすれば3分という短い時間で、私たちの想いを伝えることができるのか、私たちは試行錯誤してプレゼンを作り上げました。



結果は、10人中10票、満点をいただき助成してもらえることになりました。私は、一からみんなでプレゼンを考え、作って発表まで行ったので大変だったけれど、とても充実していると思いました。



そして、土佐山夏祭りのときに、看板に載せるものはどんなものか聞きました。ゴトゴト石や山んばの滝などを載せてほしいという意見が多かったです。



もっともっとたくさんの人に見てもらいたい。そう思った私たちはキャッチフレーズを考えることにしました。やはり土佐弁は使いたい。そして、他の県のキャッチフレーズを調べたりして、完成したのが「よう来たねえ、土佐山へ。土佐山に惚れたちや」というのがキャッチフレーズです。



土佐山の特産品、名所をもっとわかりやすく伝えるためにキャラクターも考えました。
このキャラクターは土佐山の特産品である柚子をイメージしたキャラクターです。



このキャラクターは、土佐山の名所である菖蒲洞をイメージしたキャラクターです。
また、遠くからでもよく見えるように、色を濃くするなどの工夫もしました。



地域の方や看板屋さんに看板をプレゼンし、アドバイスや意見をいただきました。
地域の方は、キャラクターはそれぞれ関係のある場所に置く、という意見をいただきました。
看板屋さんからは、背景に色を付けるという意見をいただきました。



私たちの思いがたくさん詰まった看板をごらんください。



これが、完成した看板です。

No.3

ふんわりシスターズ

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 2年 2月 27日

1 団体の名前

ふりがな	ふんわり しずか
団体の名前	ふんわりシズカース

2 活動のテーマ

商店街をパンフレットで活性化！

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
7月下旬	うちわの作成。設置場所の検討。はりまや橋商店街を見に行ったり、話を聞いたりした。
8月上旬	うちわの完成。印刷業者に発注を行った。どこに何部置くのかを考えた。
8月上旬 (お盆の日)	うちわの設置。場所は高知城、ひろの市場、歴史博物館。高知城では配布を行った。(900部を配布)
9月上旬	うちわの残量確認。各場所に行き、うちわを確認した。残量から、とってくる人の考察を行う。高知空港で200部設置。
12月上旬	はりまや橋商店街に行った。聞きとり、効果の確認。新聞取材を受けた。

4 まちづくりの効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふうによくなったと思うか書いてください。

<感想>

初めはうまくいかず不安が多かったが、やってみるにつれて楽しくなってきた。協力することの大切さを理解。とても1人でできることではなかった。また、1人では良いアイデアがなくて、多くの場所に配ることはできなかった。協力することの大切さをしっかり実感できた。

<まちがよくなったと思うこと>

うちわを置くことで、それを見た人が、商店街にやってくるのを見た。効果はあったと考える。うちわで地域を活性化することはできたと考える。

5 今後の展望など

今後自分たちの活動をどのように続けていきたいかなど、自由に書いてください。

今後は、もっとたくさんの人に訪ねてもらいたい。だからもっと工夫をしたうちわやパンフレットを作成したい。

うちわを作成し、人はくるようになった。しかし、それは一時期だったのだから、いつでも人がいる商店街にしたい。

6 活動の様子がわかる絵や写真があれば紹介してください♪



ふんわりシスターズ

令和元年度決算報告書

	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
収 入	ファンド助成金	165,000 円	80,252 円	
			円	
			円	
	合 計	165,000 円	80,252 円	

	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
支	パンフレット印刷代	150,000 円	77,512 円	直径200mm円形ECOうちわ 48.445円×1,600部
	文房具等	5,000 円	0 円	iPadでの作業だったため。
	交通費	10,000 円	2,740 円	7/25 200円(鏡川橋～はりまやばし)×往復=400円 400円×3人=1200円
				7/28 薊野～高知駅170円+高知駅～高知城前 200円=370円 370円×往復=740円
				8/8 200円(鏡川橋～はりまやばし)×往復=400円 400円×2人=800円
	合 計	165,000 円	80,252 円	

成果物「うちわ型パンフレット」

はりまやばし商店街のおすすめのお店などを紹介するパンフレットです。



令和元年 12月8日 「パンフレットの効果調査(はりまやばし商店街)」





No.4

高知とさいゆく広報部

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 2 年 2 月 24 日

1 団体の名前

ふりがな	こうち とせじゅく こうほう ぶ
団体の名前	高知 とせじゅく 広報部

2 活動のテーマ

高知のこと知っちゃう? ~ 高知を世界に発信 ~

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
初旬 令和元年7月中旬	カメラの使い方講習 (横江先生) 取材: 旭日地区防災食プロジェクト
8月初旬 中旬 下旬	取材: 土佐山宣隊6ネンジャー 取材: 久重 natural チーム (久重の休耕田にて保存食とるお茶作り) Tシャツ完成 / 太平洋コミュニティ協力隊 (太平洋学園 避難所運営体験学習)
9月中旬	取材: 久重 natural チーム (星の観察)
10月中旬	動画、編集講習会(浜口先生)
1月下旬	取材: ほこほこ交流会 動画、編集講習会(浜口先生)
2月中旬 下旬	動画、編集講習会(浜口先生) こうちこどもファンド活動発表会の準備

4 まちづくりの^{こうか}効果

^{かつどうご}活動後の感想と、^{かんそう}自分たちが活動して、^{じぶん}まちがどんなふう^{かつどう}に良くなった^よと思うか書いてください。

<感想>

一つの動画も作り難しさを実感した。
自分達自身が知らなかった高知県の良さを知れて良かった。
またこの活動を通して、自分達が住んでいる高知県について見直して、どう高知県全体を
良くしていくか行動を起こすための一つの糧になったと思う。

そして、このうちこもアワードを通して、たぐひの力と南のことができ、高知県民の心の温かさに触れられた。

<まちが良くなったと思うこと>

YouTubeに動画をアップするなどで、自分たちが住む地域を盛り上げようとする気持ちと他県の人に知ってもらえる
チャンスができた。同時に、高知県の知名度も上げられると思う。
また多くの人と触れ合ったことで地域の人達との繋がりができた。

5 今後の展望など

^{こんご}今後自分たちの活動^{てんぼう}をどのように^{かつどう}続けてい^{じゆう}きたいかなど、自由に書いてください。

おそろく来年は継続できないが、これから将来大学生になって、地域活性化について
学んだり、活動を立ち上げるなどをして、まちづくりに貢献していきたい。
また、自分たちが高知県を良くしようとする立場になったとき、今回の活動を
通して子どもの純粋な視点に立って、一つの型にとらわれないで考えていきたい。

6 活動の様子がわかる絵や写真があれば紹介してく



高知とさじゅく広報部

令和元年度決算報告書

収入	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
	ファンド助成金	200,000 円	60,386 円	
	合計	200,000 円	60,386 円	

支出	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
	取材に係る交通費	92,000 円	2,560 円	680円×2人 500円×1人 350円×2人
	研修費・講師謝金	30,000 円	30,000 円	10,000円×1人×3回
	賃借料	15,000 円	0 円	
	消耗品費	35,000 円	15,885 円	SDカード 1,394円×2点-100円(割引) 編集ソフト 12,980円×1点 模造紙 217円
	広報費	28,000 円	11,941 円	取材時着用Tシャツ 8,691円(6枚) 広報用名刺 3,250円
	合計	200,000 円	60,386 円	

成果発表パワーポイント

高知とさじゆく広報部

私たちは
皆さんの活動を
動画にします

なにをしたの？

高知とさじゆく広報部

その1



こうちこどもファンドの活動に取材
に行かせてもらいました！！



高知とさじゆく広報部

それぞれの団体の活動

高知とさじゆく広報部

絶海池の清掃(AOYAGI地域盛り上げ隊)
防災学習会(旭地区防災プロジェクト)
保存食作り(久重naturalチーム)
防災キャンプ(太平洋学園コミュニティー協力隊)
Village Jamboree
土佐山宣隊
ほこほこ交流会(Juvenile)

取材させていただきありがとうございました！

高知とさじゅく広報部



その2

取材した内容を動画にまとめました！



高知とさじゅく広報部

動画レクチャー

動画編集についていろいろアドバイスを
いただきました！



その3

インターネットを通して世界に
高知の魅力を発信！！



高知とさじゆく広報部

他国の方にも見てもらえるよう
英語字幕をつけました！



※YouTube上の動画の設定で字幕オンにすると英語字幕が見えます！

高知とさじゆく広報部



高知とさじゆく広報部YouTubeチャンネル

もしくは、YouTubeで「高知とさじゆく広報部」と検索！！

随時アップロード予定！！ぜひ画質を1080pのMAXで見てください！

ありがとうございました！

これからも頑張ります！

高知とさじゆく広報部

活動のまとめ(模造紙)



高知とさじゅく広報部



久重 natural チーム



旭地区防災食プロジェクト



Juvenile



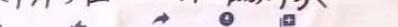
Village Jamboree



AOYAGI地域盛り上げ隊



太平洋学園コミュニティ協力隊



高知とさじゅく広報部 YouTube →



② 撮影中



③ インタビュー中



★高知とさじゅく広報部



④ 編集集中



① 取材開始



⑤ ついに動画UP!!



感想コメントを入力



穴山 桃羽・3分前
活動を通して、高知県に住んでいるのになかなかたくさんの魅力に出会えました。県民にも県外の方にも、高知の良さを伝えてもらえる機会をもっと増やしたいです。👍👍



迫屋 景亮・9時間前
この活動を通して楽しんでいる子供たちの笑顔を見た高知の新たな魅力を学びました。そしてこの活動は周りの人の力を借りて、一緒に作り上げる協力の大切さを学びました。これからもっと関わってほしいです!!👍👍



谷 大地・50分前
世界の中に見ても見えない作品を作るまでの過程は勉強になることが多かった。高知の良さを伝えてもらえたら、嬉しい限りです。👍👍



寺尾 和花子・2ヶ月前
皆さんの活動の魅力を動画で表現するのは、思ったよりも難しいことでした。動画を1人でも多くの人に観てもらって、勉強していきたいです。👍👍



那須 亮太・11秒前
高知市内の同年代の人達が、いろんなことをしているのを知りました。動画で他の人にも知ってもらって高知をもっと良くしたいと思ってる人が今後活動していて休まず嬉しいです。👍👍



安岡 莉穂・11分前
多くの人たちと交流して高知の人の良さを改めて感じました。高知の魅力が少しでも多くの人たちに伝わればいいと思います。👍👍

高知のこと知っちゃう? ~ 高知を世界に発信 ~

YouTubeで「高知とさじゅく広報部」検索!